

パレット管理ルールモデル等の策定 に向けて検討していただきたい事項

農林水産省
大臣官房 新事業・食品産業部
食品流通課

パレットサイズ

アンケート結果

- ・ パレット使用比率は高い
- ・ パレットの材質はプラスチックの比率が高い
- ・ 1 1 型が最も多く、1 2 型、9 型もその半数程度ある

○木製パレットと比較した場合のプラスチック製パレットの主な優位性

- ・ 衛生的であること
- ・ 耐久面に優れていること
- ・ リターナブルであること
- ・ リサイクル利用が可能であること

追加調査結果

パレットの運用するサイズは以下のものが多かった

- ・ 現在日本国内において最も広く普及している平面サイズ1100mm×1100mm（1 1 型）
- ・ 加工品にも使用する平面サイズ1200mm×1000mm（1 2 型）
- ・ ブリやハマチなどの魚種に適性のある平面サイズ900mm×1100mm（9 型）

検討事項

- ・ パレット利用を標準としてよいか
- ・ 標準パレットサイズを1 1 型としていくべきか
- ・ プラスチック製を標準としていくべきか

積付けパターン

アンケート結果

- ・ 箱サイズは揃っていない
- ・ 検品方法は目視による手作業がほとんど
- ・ 豊洲市場における積み込む時に多くのパレット積み替え作業

追加調査結果① (外装サイズ)

- ・ 魚のサイズが多種多様で、平パレットのサイズに合わせ、段数を積んだ時の高さや総重量を考慮しつつ、平面からはみ出さない積付けをしているのが実態

追加調査結果② (外装積付け)

- ・ 積付けは、積載率を優先とした積み方を基本とし、状態に応じて井桁積みや棒積みでも対応
- ・ 底面の箱数は5, 6, 7, 8, 10が多い。(次頁の「底面の箱数の例」を参照)
- ・ 重量物は下に、軽量物は上に積み付け
- ・ 重量表示は目視できるように外側に向ける
- ・ 井桁積みを行った場合には中央の空間部分には荷物を入れない
- ・ ほぼ同じ大きさの発泡スチロール又は段ボールを積み付けて、梱包フィルム又はPPバンド等で固定
- ・ トラックの積み込みの際は、パレットとパレットの間はベニヤ板や発泡スチロールを入れた上で密接させて動かないようにする

検討事項

- ・ 箱サイズが多様であり、調査結果は積付けパターンとして一定の合理性は認められるものの、箱サイズ・積付けパターンの標準化は難しいことから、標準化ではなく参考として示すのはいかがでしょうか
- ・ 他に留意すべき事項はないか



(参考) 底面の箱数の例

底面の箱数																																		
5 箱	6 箱	7 箱																																
<table><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td></td><td></td><td>4</td></tr><tr><td></td><td></td><td>5</td></tr></table>	1	2	3			4			5	<table><tr><td>1</td><td>2</td><td colspan="2">3</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>4</td></tr><tr><td colspan="2">6</td><td></td><td>5</td></tr></table>	1	2	3					4	6			5	<table><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>4</td><td colspan="2">6</td></tr><tr><td>5</td><td colspan="2">7</td></tr></table>	1	2	3	4	6		5	7			
1	2	3																																
		4																																
		5																																
1	2	3																																
			4																															
6			5																															
1	2	3																																
4	6																																	
5	7																																	
8 箱	1 0 箱																																	
<table><tr><td>1</td><td>2</td><td colspan="2">3</td></tr><tr><td></td><td></td><td colspan="2">4</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>7</td></tr><tr><td colspan="2">5</td><td></td><td>8</td></tr><tr><td colspan="2">6</td><td></td><td></td></tr></table>	1	2	3				4					7	5			8	6				<table><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td colspan="2">5</td><td colspan="2">6</td></tr><tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr></table>	1	2	3	4	5		6		7	8	9	10	
1	2	3																																
		4																																
			7																															
5			8																															
6																																		
1	2	3	4																															
5		6																																
7	8	9	10																															

【参考】
積付けは、箱のサイズに応じて最大積載となるように行っており、以下のように多様である



(参考) パレットサイズと外装サイズの関係

	パレットサイズ	外装サイズ
加工食品	1100mm×1100mm(11型)	1100×1100mmの平面寸法に対して90%以上の平面積載率になるように設定 L×W×H： 265mm×210mm×210mmを基本
青果物	1100mm×1100mm(11型)	○品目ごとに異なり、たまねぎの場合 ・はい数8：底辺サイズ（長辺465mm、短辺310mm） ・はい数12：底辺サイズ（長辺360mm、短辺260mm）
即席食品	1100mm×1100mm(11型) 1000mm×1200mm(12型)	○商品ごとに異なり、袋めんの場合 ・その①：縦346mm、横346mm、高さ346mm、8面、3段 ・その②：縦387mm、横372mm、高さ334mm、9面、4段 ・その③：縦346mm、横402mm、高さ346mm、6面、3段 ・その④：縦420mm、横366mm、高さ367mm、6面、3段 ・その⑤：縦350mm、横465mm、高さ380mm、6面、3段
飲料	900mm×1100mm(9型)	パレット平面(1層)の寸法については、段数を積んだ時の高さや総重量を考慮しつつ、平面からはみ出さないギリギリの積付けパターンを設定
花き	1100mm×1100mm(11型)	標準の平パレット1,100mm×1,100mmに合わせ、例えば次のようなサイズの横箱段ボールの使用を推奨する。 ・タイプA；長さ1,100mm×幅360mm×高さ260mm ・タイプB；長さ1,100mm×幅360mm×高さ173mm ・タイプC；長さ1,100mm×幅360mm×高さ130mm ・タイプD；長さ1,100mm×幅275mm×高さ130mm など

パレット管理（その1）

アンケート結果

- ・ 所有形態は雑パレット（木製、プラスチック）が主流
- ・ 豊洲市場における積み下し時にパレットを回収する率は83%（等枚交換42%、積み替え後に回収33%、後日8%）
- ・ 豊洲市場から最終着地における積み下ろし時にパレットを回収する率は60%

第1回会合での意見

- ・ 基本的に事業者毎に取引先というものは決まっており、取引先と話をしてパレットが流通する仕組みができれば上手く回る。

追加調査結果

- ・ 産地からパレットで出荷された場合には、基本的に等枚交換等（出荷時に等枚交換又は後日等枚分を回収、積み替え後に回収）を行い、使い終わったパレットはそれぞれの置場に戻して保管を行っている。
- ・ なお、等枚交換に際しては、木製パレットは木製パレットで、プラスチックパレットはプラスチックパレットでの交換を概ね実施している。
- ・ また、パレットサプライヤーからの聞き取りによると、木製パレットは、海外からの移入が減少していることや木材価格等の上昇も相まって、国内流通量は徐々に減少する一方、プラスチックパレットは、原材料高を背景として価格が上昇しており、持続的なパレットの利用に向けて循環体制の構築は必要である。



検討事項

持続的なパレットの利用に向けて、パレット管理ルールを作るとした場合、以下のようなものが考えられるかどうか。

（パレット管理ルールモデル案）

パレットを出荷する事業者及び配送先の事業者は、

- ① 当事者間でパレット管理契約を締結すること
- ② 管理者をそれぞれ決めること
- ③ パレット台帳をそれぞれ作成してパレットの管理枚数を把握すること
- ④ パレットの回収に当たっては、使用枚数に相当するパレットを回収（出荷時に等枚交換又は後日等枚分を回収）すること
- ⑤ 使い終わったらパレットは回収して、それぞれの置場に戻して保管すること

パレット管理（その2）

パレット管理ルール

パレット管理契約

- ・他の種類のパレットと分別保管すること
- ・パレットの盗難防止に努めること
- ・荷下ろし後のパレットを他の商品の保管等には使用しないこと 等
- ・ ×××××××
- ・ △△△△△△
- ・ □□□□□□

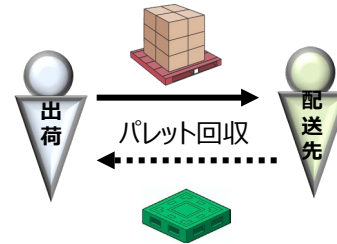
1



2

パレット 台帳		
(保有数)	(使用数)	(残数)
100	90	10

3



4



パレット置場で保管

5

パレット管理ルール（パレット循環体制）



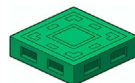
パレット保管

集荷センター

運送業者



パレット循環



豊洲市場

卸売会社

仲卸業者等



パレット保管